

日本中小企業学会

2011年1月

# 会 報

No. 58

## 会長就任にあたり 日本中小企業学会 高田亮爾新会長挨拶



高田亮爾（流通科学大学）新会長

このたび、日本中小企業学会第11期の運営責任を担うこととなりました。これまで本学会の発展にご尽力されてこられた歴代の会長はじめ、多くの先輩のご努力を思います時に、責任の重さを痛感しております。役員各位はじめ会員各位のご助力をいただき、微力ながら学会の発展に全力を尽くしたいと存じます。

1980年に設立された本学会は、2010年に30周年

を迎え、ますますその社会的使命が重要となっております。こうした中で、前会長の基本方針を継承しつつ、今後さらなる学会の発展に向けて、次のような課題があると考えております。

第1に、学会の財政基盤の改善・再構築を図ることが喫緊の課題と思われまふ。会員各位のご理解、ご協力を得られますよう、努めたく存じております。

第2に、学会活動の基本である全国大会、およびその前提となる地区別部会の一層の充実・発展を図っていきたく考えまふ。

第3に、そうした学会活動の重要な成果である『学会論集』の一層の充実・発展を志向したいと思ひまふ。

第4に、国際交流の促進、次世代を担う若手の育成、さらに社会・地域との連携等に、今後とも注力していきたく考えまふ。

第5に、必要に応じて、学会の会則、規定、内規などの整備を進めねばならないと考えております。

全体として、学会設立の目的・原点である「中小企業研究に関心をもつ多様な専門分野の研究者を結集し、中小企業の総合的・学際的研究を発展させ、その成果の普及を図るべく」、努力する所存でございます。

会員各位のご支援、ご鞭撻を賜りますよう、どうかよろしくお願い申し上げます。